

**NEWS RELEASE**

省エネ性に優れた快適な居住空間の実現に貢献  
**ZEB 関連技術実証棟建設のお知らせ**

三菱電機株式会社は、情報技術総合研究所(神奈川県鎌倉市)に、ZEB(net Zero Energy Building)関連技術の実証棟を建設します。世界的な目標である、「持続可能な開発目標(SDGs<sup>※1</sup>)」達成に貢献する活動の一環として、今後の需要拡大が見込まれるZEBに関する省エネ技術の開発と実証実験を加速し、省エネ性に優れた快適な居住空間の実現を目指します。投資金額は約36億円で、2020年6月に稼働を開始する予定です。

※1 Sustainable Development Goals



「ZEB 関連技術実証棟」のイメージ

**実証棟の概要**

所在地	神奈川県鎌倉市大船五丁目1番1号(情報技術総合研究所内)
面積・構造	建築面積 約2,000m <sup>2</sup> 、延床面積 約6,000m <sup>2</sup> 、鉄骨造地上4階建
主な実証内容	省エネと快適さを実現するZEB関連技術
投資額	約36億円(実証実験関連機器投資約16億円含む)
稼働開始予定	2020年6月

**背景と狙い**

ZEBとは、ビルの快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・日射遮へい・自然エネルギー利用・高効率設備などによる省エネと、太陽光発電などによる創エネにより、年間で消費する一次エネルギー消費量がゼロ、あるいは概ねゼロとなる建築物をいいます。本実証棟はZEBの定義の中でも、創エネによる一次エネルギー供給量で実証棟内の設備による一次エネルギー消費量をすべて賄うことができる『ZEB』を目指しています。

当社は、「ZEBプランナー<sup>※2</sup>」として、ZEB実現を目指す事業者へのプランニングや業務支援を行うことでZEBの普及に貢献しています。本実証棟の建設により、ZEB関連技術の開発を加速させ、順次事業に適用していくことで、省エネと快適な居住空間の実現に貢献していきます。さらに、働く環境の効率化なども含めてビルを高度化する当社の「ZEB+<sup>®</sup>(ゼブプラス)<sup>※3</sup>」の考えに基づき、技術開発を推進します。

※2 平成29年度に経済産業省がZEB普及のために設定した登録制度

※3 三菱電機が提案するコンセプト

**商標関連**

「ZEB+<sup>®</sup>(ゼブプラス)」は、三菱電機株式会社の登録商標です。

**開発担当研究所**

三菱電機株式会社 情報技術総合研究所  
〒247-8501 神奈川県鎌倉市大船五丁目1番1号  
FAX 0467-41-2142  
[http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/randd/inquiry/index\\_it.html](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/corporate/randd/inquiry/index_it.html)

報道関係からの  
お問い合わせ先

〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 TEL 03-3218-2359 FAX 03-3218-2431  
三菱電機株式会社 広報部